

# JP159 やんばんる

沖縄県：国頭村、大宜味村、宜野座村、東村、名護市、恩納村

位置	N 26° 41′ E 128° 11′
面積	37,000ha

## 環境構成【樹林／照葉樹林】

やんばんる（山原）は、ブナ科のスダジイ（沖縄の亜種イタジイ）が優先する常緑の照葉樹林である。地形はほとんどが山地で、自然性の高い亜熱帯性常緑広葉樹林が広がり、多様性に富む生物相を保持している。特に本地域にはノグチゲラ、ヤンバルクイナ、イシカワガエルなど固有種が多く生息するが、生息環境の悪化やマングースやノネコの影響などにより、絶滅の危機に瀕している。

山原（やんばんる）の広大な国有林地帯が米軍の演習場となっていたが、この演習場の一部が返還された。返還地を中心として、2016年に新しくやんばんる国立公園が指定された。



写真提供：川那部真

## 選定理由

A1	ヤンバルクイナ・アマミヤマシギ・ノグチゲラ
A2	ヤンバルクイナ・アマミヤマシギ・ノグチゲラ

## 保護指定

サイトの一部（10～49％）に法的な担保がある。

<保護指定の内容>

国指定鳥獣保護区（やんばんる）、県指定鳥獣保護区（西銘岳、佐手、与那覇岳、名護岳）、国立公園（やんばんる）、都道府県立自然公園（沖縄海岸国定公園）、自然環境保全地域  
<その他>

国指定天然記念物与那覇岳

## 保全への脅威

- ・マングース・ノネコによるヤンバルクイナの捕食
- ・森林伐採・農地化
- ・林道の建設・側溝への野生生物の落下

- ・道路の延伸による交通事故の多発
- ・ヘリコプター着陸帯（ヘリパッド）移設事業問題

## 保全活動

- ・外来種のコントロール  
内容：外来種の捕獲・排除、マングース北上防止柵の設置（塩屋～福地間）（環境省、沖縄県、国頭村など）  
移入種（ノネコなど）を防止するための活動（NPO どうぶつたちの病院）
- ・環境教育活動  
内容：自然観察会の実施、パネル展など普及活動、森林保全のための環境教育活動（日本野鳥の会やんばる支部）  
森林保全のための環境教育活動（NPO やんばるの森トラスト）
- ・モニタリング調査  
内容：希少種の調査（環境省、沖縄県、国頭村など）  
調査・保護活動（日本野鳥の会やんばる支部、NPO やんばるの森トラスト）
- ・保全のための人材育成活動  
内容：人材育成講座による地元住民ガイドの養成（NPO 国頭ツーリズム協会）
- ・経済活動を通じた保全（エコツーリズム等）  
内容：地元住民ガイドによる体感ツアープログラムの実施等、国頭村「やんばる学びの森」受託運営（NPO 国頭ツーリズム協会）
- ・その他  
ヤンバルクイナ保護シェルターの設置（環境省、沖縄県、国頭村など）  
ヤンバルクイナ救命救急センター（NPO どうぶつたちの病院）  
トラスト（土地の確保）活動（NPO やんばるの森トラスト）

## 見られる鳥

やんばるの森は、ヤンバルクイナ、ノグチゲラ、アマミヤマシギ、ホントウアカヒゲなど固有種の宝庫であり、世界的に大変貴重な地域である。

留鳥	ノグチゲラ、アカヒゲ、ヤンバルクイナ、アマミヤマシギ、カラスバト、ズアカアオバト、コノハズク、オオコノハズク、ヤマガラ、シジュウカラ、サンショウクイ
夏鳥	アカショウビン、サンコウチョウ
冬鳥	サシバ、シロハラ、アオジ、クロジ、ルリビタキ、ヤブサメ、メボソムシクイ、ヤマシギ
旅鳥	アカハラダカ、サシバ、エゾビタキ、ホトトギス

## 関連団体・自治体・施設等

- ・やんばる野生生物保護センター
- ・NPO どうぶつたちの病院 沖縄
- ・NPO 国頭ツーリズム協会
- ・日本野鳥の会 やんばる



Sources: Esri, HERE, DeLorme, TomTom, Intermap, increment P Corp., GEBCO, USGS, FAO, NPS, NRCAN, GeBCO, IGN, Kadaster NL, Ordnance Survey, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), swisstopo, MapmyIndia, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community